

「六甲山の災害展」来場者アンケート集計

98人分集計
(全回収分)

1 本日は、どちらから来られましたか？

①神戸市内	②阪神地区	③播磨地区	④但馬地区	⑤丹波地区	⑥淡路地区	⑦他都道府県(近畿府県・その他)	⑧他都道府県(近畿府県)	⑨他都道府県(近畿以外)
62	17	9				10	5	1

2 あなたの年齢を教えてください。

①12歳以下	②13歳～18歳	③19歳～30歳	④31～40歳	⑤41歳～65歳	⑥65歳以上
22	6	6	17	39	14

3 あなたの職業を教えてください。(退職されている方は現役時の職業)

①自営業	②会社員	③公務員・教師	④パート・アルバイト	⑤専業主婦	⑥学生	⑦その他	・年金生活者/無職	・無職
5	26	19	10	13	25	6	・団体職員	・大学教員

4 六甲山の災害展はどこで知りましたか？

①兵庫県ホームページ	②新聞・テレビ・ラジオ	③パンフレット	④口コミ	⑤人と防災未来センターに来場して知った	⑥その他()	・学校から	・HAT減災イベントの受付	・友人に聞いた	・関係者	・地下鉄 駅展示	・祖父から教えてもらった
5	28	10	4	52	10						

5 人と防災未来センターへ来場のきっかけは？

①研修	②観光	③イベントへの参加	④学校の宿題	⑤興味があった	⑥ぶらっと立ちよった	⑦その他()	・消防団関係	・昭和13年の水害について	・校外学習
3	3	23	8	57	6	13	・六甲山の災害展 展示を見る	・テレビ報道	・講義

6 お住まいの地域で、不安を感じる災害はありますか。(3つまでお書きください)

地震	がけ崩れ	土石流	地すべり	洪水	津波	ため池
78	23	31	14	37	28	5

7 災害から身を守るために、あなたがやっていることはありますか？(複数でも結構です)

①兵庫県CGハザードマップで危険箇所チェック	②避難場所、避難経路の確認etc.	③防災グッズの準備(何を)	④防災訓練等への参加	⑤その他 具体的に()
49	66	54	20	4

- ③防災グッズの準備 (何を)
- 水、食料、懐中電灯etc
 - トイレ、水、非常食、ヘッドライト、etc.
 - ヘルメット、懐中電灯、水、食料少々、肌着等
 - 水、食料、燃料、防寒シート
 - ニトリの防災グッズ
 - 水
 - 非難に要りそうな者。例：懐中電灯、靴
 - 救急用品、軍手、割りばし、電灯
 - 食べ物
 - 防災バッグ
 - 水、食料品
 - ラジオ
 - 乾パン、マッチ、毛布、サランラップ
 - 防災ズキン
 - 水、食料など
 - 飲料水、電池、食料他
 - リュック+備蓄
 - 水、食べ物、ライトなど
 - 水確保、保存食、懐中電灯準備
 - 備蓄、食料、水、etc全般的に
 - 水と簡易食料と現金
 - 蓄電器、ソーラーパネル、テントetc
 - 水、保存食、タオル、新聞、下着

- ⑤兵庫区の山麓地域から須磨区へ引っ越した
- ⑤→線状降水帯が発生したら避難する
- ⑤→神戸市防災ガイドのチェック
- ⑤→防災士取得
- ⑤→工法を考えてる
- ⑤→思い出の整理(すぐ持ち出せる様にしている)
- ⑤→ダムによって災害を防ぐ(川の流れ)

裏面の記入

8 あなたは土砂災害防止区域(イエローゾーン等)の事を知っていますか？

① 知っています	② 知りません
48	46

9 展示の内容で、印象に残ったものはありますか？(3つまでお書きください)

■パネル展示

①自分の命を守るのは自分です！	③六甲山森林整備戦略	③都市山の防災	④2020林業遺産認定「再度山」	⑤⑥治山事業、ロープネット・ロックボルト併用工法	⑦～⑩過去の豪雨災害と復旧(平成30年、平成26年、昭和42年、昭和13年、平成7年、平成26年、平成30年)	⑫急傾斜崩壊対策事業	⑬グリーンベルト事業	⑭砂防事業	⑮「災害に強い森づくり」の取り組み
15	8	8	15	29	28	10	8	21	17

■体験装置

①降雨体験装置「カップくん」	②ベットボトル保水力実験	③土石流模型実験	④風化した花崗岩を触ってみよう	⑤耐震工法模型実験	⑥土木小型模型実験	⑦ベットボトルろ過器をつくろう！
38	30	75	2	4	8	20

■記録映像の放映等

①記録映像の放映	②阪神大水害デジタルアーカイブ
17	4

■防災マップ

①パソコン操作体験	②マップ閲覧
3	10

■その他 (

10 災害展を見て、あなたの防災に対する意識は向上しましたか？

①はい	②少し変わった	③あまり変わらない	④いいえ	⑤わからない
57	35	2		

11 災害展を見てあなたがすぐにしようと思ったことは何ですか？

その他、感想についても自由にご意見をお聞かせ下さい。

★すぐにしようと思ったこと

- ・より良い方法を考える
- ・ハザードマップの確認6・避難経路の確認2
- ・防災マップを家族で再度確認
- ・逃げるタイミングを見極めること（判断・決断力）
- ・防災用品の準備
- ・ろ過の実験（小学生）
- ・子どもたちに伝えたい
- ・地震、土石流の対策
- ・天気予報に気を付ける
- ・防災グッズを準備する2
- ・予想危険水域を調べる・避難経路の再確認
- ・災害のことをもっと色々知りたいと思います。
- ・ハザードマップを見てテレビのニュースをよく見ようと思います。
- ・垂直避難は最終の手段ということを知ったので、避難所へのルートを確認しようと思います。
- ・家の近くのダムを見ようと思いました。 2
- ・家の近くにダムがあるのか確認
- ・早めの避難
- ・ハザードマップ再確認（自宅、実家）
- ・家のテレビなどの固定
- ・家の周りの整理
- ・リュックに入れるものを決めておくことや、ダムがあつて、安全な道を確保すること。
- ・避難場所を決める
- ・家具の回収
- ・防災グッズを揃えること。（非常食など）
- ・早めに逃げる
- ・防災リュックの点検、避難タイミング確認
- ・改めて、防災意識を高めようと思った。
- ・防災グッズをちゃんと常備しないといけないと思いました。
- ・災害がこないか注意する。
- ・自然現象のメカニズムを知り、それに自分の生活がどうマッチングするかを考えて、防災、減災のことを考えるべきと思いました。
- ・ダムを見つけてみようと思った。
- ・正しい知識を身につけること。
- ・防災バッグの準備
- ・防災バッグの中身を確認すること。
- ・避難経路を作るようにすること。
- ・命の大切さ、災害から守る、厳しさ。普段から気をつける。持ち物。近隣の助け合い、ふれあい。

★その他感想

- ・いつどこで起きるか分からない災害なので常に頭の隅にとめておく、準備をすることが本当に大切だと感じました。
- ・登山やダムカード集めをしているので治山ダムなどにも意識してみようと思います。
- ・丁寧に対応していただきありがとうございました。
- ・山の防災事業について大変よく理解できた。体験型のイベントを継続してほしい。一般の人は砂防事業を知らない人が多いと思う。
- ・子供が実験に関心を持って行っていたので良かったです。ありがとうございました。
- ・保水力実験が楽しそうだった。（小学生）
- ・子供の防災意識向上に役立ったと思います。
- ・分かりやすかったです
- ・手を入れると気持ち良かったです（小学生）
- ・土石流実験装置を各地のイベントで使われることがと知り、周りに伝えたいと思いました。
- ・子供が実験など体験出来て良かったです。
- ・いつも見てた六甲山などの山が、はげ山ということを知った。
- ・知識が広がりました。
- ・地域の環境に目を向けようと思いました。
- ・治山ダムの早急な建設が大切だな。森林の育成と保護のできる体制が急がれると思った。
- ・砂防ダムのありがたみを感じました。
- ・土石流の実験でダムのすごさがわかりました。
- ・色々な場所でこのような企画展を開催していただきたい。
- ・過去に何度か見たものも、今は現実味をおび、理解もしやすかった。
- ・防災について具体的な方法を教えて欲しい。六甲山の防災は進んでいるがまだ完全とはいえないのでは。
- ・森林のことについて学びたい。
- ・実物と模型が似ていてわかりやすかったです。
- ・6月に仙台から転勤で神戸に来ました。土地勤もなく地域についても全くわからないのでいろいろ勉強できたらと思ってきました。最近の雨の降り方も心配なので、神戸は山も海も近距離にあるので知らないでいることが不安を生み出しているのでも知ることが出来る機会になり良かったです。
- ・楽しかった
- ・当時中山手在住、S13年水害の記憶を確かめるため来館したが、当時の資料は少なめだった。が、色々学びはあった。
- ・砂防ダムの石が溜まって、取り除かず木が生えてきたらOKということに驚いた。
- ・様々な防災の仕組みを知りたいと思いました。
- ・ダムを見に行こうと思いました。
- ・片付けが大変な中、実験してくださってありがとうございました。
- ・スタッフの方が熱心で優しく、子供が大いに影響を受けたと思います。ありがとうございました。
- ・面白かったです。
- ・ありがとうございます。
- ・勉強になりました。
- ・砂防ダム・治山ダムがとても大切だと思った。
- ・土砂災害の事が分かりやすかった。
- ・いろいろ説明していただいてありがとうございました。